

どの取組みかわかるように具体的な内容を記載

II 3) 交通渋滞を避けるため、駐車場出入口は交差点から離れた位置に設けた



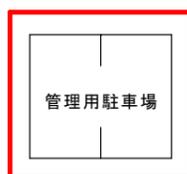
道路

適切な量の確保には、具体的な検討内容を記載

II 1) 施設用途を考え、最大施設利用者(〇〇人)の●●%となる△△台以上(▲▲台)の駐車場を計画した



II 2) 利用者駐車場とは別に管理用駐車場を設けた



計画建築物

I 1) 施設用途を考え、最大施設利用者(〇〇人)の●●%となる□□台以上(■■台)の駐輪場を計画した



I 1) 駐輪場利用者の利便性に配慮し、駐輪場出入口を2ヶ所設けた



I 1) の評価では
 ・建物利用者のための適切な量の自転車置場の確保
 ・駐車場利用者の利便性への配慮
 の両方の取組みを行うこと

LR3 2.3.3 交通負荷抑制 評価基準

用途	事・学・物・飲・会・工・病・ホ・住
レベル 1	評価する取組み表の評価ポイントの合計値が0ポイント
レベル 2	評価する取組み表の評価ポイントの合計値が1ポイント
レベル 3	評価する取組み表の評価ポイントの合計値が2ポイント
レベル 4	評価する取組み表の評価ポイントの合計値が3ポイント
レベル 5	評価する取組み表の評価ポイントの合計値が4ポイント

評価する取組み

評価内容	評価ポイント
I 自転車の利用(代替交通手段の利用)に関する取組み	
1) 建物利用者のための適切な量の自転車置場(バイク置場を含む)の確保、駐輪場利用者の利便性への配慮(出し入れし易さ、利用し易い位置にあるなど)	1
2) その他(記述)	1
II 駐車場の確保に関する取組み	
1) 適切な量の駐車スペースの確保(周辺道路に渋滞や路上駐車などを発生させないための措置として)	1
2) 管理用車両や荷捌き用車両の駐車施設の確保	1
3) 駐車場の導入路(出入り口など)の位置や形状・数への配慮(周辺の渋滞緩和に資するもの)	1
4) その他(記述)	1